

Principal Correspondence

サンタクロースが訪れる小学校

リリーベール小学校の先生方はもちろん
子どもたちも本気でサンタクロースの存在を信じています
だって創立以来12月になると毎年やってくるのですから
今年も公式声明を下記の通り発表します

リリーベール公式声明

サンタクロースは本当にいます
サンタクロースが人々の善意の象徴とするなら
彼はみんなの心のなかに確かにいます

今年も1年間、精一杯泣き、笑い、すくすく
元気に大きくなったあなたには、特別に
クリスマスアッセンブリーの日に会いにくるでしょう

今年1年の成長と、あなたを見守り
慈しんでくれた人々に感謝し
来年はもっと優しく強い子になりますように…願いをこめて

クリスマスは、例えキリスト教徒でなくても、大人にも、子どもにとっても
一年の終わりの最も楽しい行事です。

夕暮れの雑踏、街の飾り、光り輝くイルミネーション、歳末助け合いの声。
子どもたちはサンタクロースのプレゼントに心躍らせ、大人はあたりまえの
幸せに感謝し、一年間の無事と成長を祝うとき・・・。

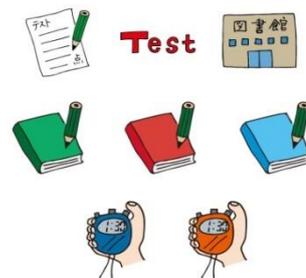
一年の終わりに、リリーベールでは「クリスマスアッセンブリー」で皆様に
至極の時間を提供します。

Principal Correspondence

否認知能力とは

「否認知能力」という言葉をご存知ですか？

この反対が「認知能力」で学力や体力など点数ではかれるもの、IQや体力測定や数字で見える力を言います。



これに対して「否認知能力」は点数では測れない能力

しかしこれこそが人生の成功を左右する力と言われます。



「否認知能力」は学者によっては「人間性知能」ともよばれ、概念が広いのですがここでチェックしてみましょう。慶応大学の中室準教授は下記の要素を上げています。すなわち

- ①自分に対して自信がある，やりぬく力がある。→「自己認識」
- ②やる気があり意欲的である。→「意欲」
- ③忍耐強い，粘り強い，根気がある，気概がある。→「忍耐力」
- ④意志力が強い，精神力が強い，自制心がある。→「自制心」
- ⑤自分の状況を把握できる。理解度を把握する。→「メタ認知ストラテジー」
- ⑥リーダーシップがある。社会性がある。→「社会的適性」
- ⑦すぐに立ち直る，上手く対応する。→「回復力と対処能力」
- ⑧創造性に富む，工夫する。→「創造性」
- ⑨神経質，外交的，好奇心が強い，協調性がある，誠実。→「5つの性格的特性」

兄弟姉妹の少ない現代，縦割りの異年齢で子どもたちが群れ遊ぶ姿は学童クラブ以外では見られなくなりました。学校生活でも休み時間は同年齢の子どもたちとしか遊びません。しかし異年齢の群れ遊びこそコミュニケーション能力を高め，社会性を育て，感情的知性(他人の感情を理解し，自分の感情をコントロールする力)を育てる最も大事な機会なのです。私はこの経験はまず小学校期に獲得するべきと思います。

「否認知的能力」は高校生くらいまで伸びますから，小学校時代を過ぎたら積極的に生徒会や，部活動，ボランティア，リーダーシップ体験を積むことが必要であると思います。

いくら才能に恵まれていても、「否認知能力=人間性」なくして人生の成功はありません。それは社会に出ておられる保護者の方が，経験的にお分かりになっていることと思います。

「認知能力」に一喜一憂するだけではなく「否認知的能力」を伸ばす環境や機会作りにこそ意識を持ちたいものです。

